

■米国：ネバダ州選出の上院議員、ユッカマウンテン計画に反対を表明

2016年12月7日付の報道によると、ディーン・ヘラー上院議員（ネバダ、共和）は、トランプ氏の大統領就任後も、使用済燃料の処分場のユッカマウンテン計画に引き続き反対していくと述べた。同氏はまた、トランプ氏が所有するラスベガス近辺の不動産、またカジノやリゾート関係者との親密な関係を考えると、トランプ氏は同計画を進められないのではないかと述べている。ラスベガスはユッカマウンテンの南東約100マイル(160km)に位置し、以前から処分場建設による地下水汚染を懸念する声が上がっていた。ユッカマウンテン計画に強く反対していたハリー・リード上院議員（院内総務、ネバダ、民主）が今年で引退することもあり、トランプ氏の政権移行チームは、ユッカマウンテン計画の再開に関心を示しているとされる。